



NPO/
SORUCA
NonProfit Organization/Soft Resources of Urban and Country Association

通信

初夏

会員 各位殿

平成27年5月31日

巻頭言

NPOソフトインダストリー研究会

理事長 白石 嘉宏

不平等条約・戦後レジーム

日米の間は今も敗戦で負けたときのままに置かれています。対等な関係ではありません。まずは「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」、通称「日米地位協定」といわれる協定です。皆様もおかしいと思っているでしょうが日本でひき逃げ、犯罪などした米兵のほとんどが日本での裁判を受けずに米軍基地内でもみ消され犯罪者は本国に帰ってゆきます。

通称、「横田空域」と言われる一都8県（東京、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、長野、山梨、神奈川）の広大な空域は米軍が航空管制を行っています。ですから日本を始めどの国の飛行機もこの空域を通るときは事前に米軍に届け出なければなりません。皆様も羽田を飛び立って関西方面に向かうときにまっすぐ西に向かわず、まず千葉県の上空を通りそれから海上を西に進むことを経験していることでしょう。

沖縄返還に当たっては密約があったことは今日では広く知られています。

現在肅々と普天間基地を辺野古に移そうとする政府の方針に対して翁長知事は断固反対を唱えています。普天間基地の移設については小川和久氏が1999年にキャンプハンセンへの移設は米軍も受け入れられると公表しています。海兵隊が海兵隊の基地に移るわけですから米軍も納得するでしょう。この案は官僚の面子により葬られたと言う噂です。

東京大空襲、原爆投下の指揮を執った当時空軍少将のカーチスルメイは戦後佐藤栄作首相の時代にわが国の最高勲位の勲一等旭日賞を受けました。通常勲一等は天皇により直接親授されるのですが昭和天皇はこれを拒否し天皇による親授は行われませんでした（敬服します）。積極的平和主義、それならその前に戦後レジームの脱却として地位協定、首都の空域、沖縄密約おかしな叙勲などから手をつけてもらいたいものです。

SORUCA 通信 contents

- 不平等条約・戦後レジーム
- 解体近諸・お国が作る株高
- 事業報告・決算報告
- 貴方は健康ですか
- 前号の纏めとお詫び
- 疎開暮らし



解体近諸・お国が作る株高

アベノミックスはうまく行っていると未だに言っています。株価も2万円前後に高止まりしているからでしょう。何しろ株価が高いことと失業率が改善されていることがその証明であるとの姿勢です。

でも、すでに前の会報で書いたとおり経済がよくなり企業業績が上がり株主には配当が増え、社員には賃金上がるという昔の姿と今とは全く異なります。

株価は経済の実態を反映していません。

すでに皆さんもご存知の通り日銀が購入する上場投資信託の購入を1兆円から3兆円に増やしました。

私たちの年金積立金を管理する年金積立金運用独立行政法人が保有する137兆円を今までは12%の運用でしたが、これを25%と倍増することになりました。

同様に教員や地方公務員の共済年金の運用を上記独立行政法人に託しました。

郵貯銀行も46兆円から60兆円に拡大します。さらにかんぽ生命もこれに加わります。兆単位のお金ジャブジャブ。これが株式市場に流れ込みますから株価2万円でも安すぎます。ですから、株式市場に雪崩れ込むお金は本当に景気がよくなったからではありません。みんなの蓄えたお金を流し込んでお金の量を増やしただけです。だから、円安によりその恩恵を受けた輸出型の企業の業績はとて良くなりましたがその下請けや多くの国内相手の企業の業績は横ばいか、または消費税アップによる消費の低迷で恩恵を受けられないばかりか環境はじわじわと厳しさを増してきています。一方、失業率は確かに改善されました4年前の約300万人が今では200万人ぐらいですから100万人ほど改善されたように見えます。でも失業者数は就業を希望している、と届け出た人を対象にしていますから高齢化とともに就業を希望しなくなった人も居るでしょうし、311からの復興、2020年のオリンピックに依り土木建設業関連の就業者も多いことでしょう。

大卒、高卒の就業率は大変高い数字になりました。学校を出て仕事に就けるということは社会の活力、安定の上からも望ましいことです。でも、子供の数はだんだん少なくなっていますから、就職率ではなく就職者数で見ると実数はどの程度増えているのでしょうか。実数と率の両方の数字を知りたいものです。

こういう中で、今年度の予算は96兆円になりました。国の借金は1000兆円の台を超えました。国民一人当たりの借金に換算すると800万円を越えています。一貫して増大する国家予算、それにより作られてきた道路や橋梁始め多くのインフラの維持が困難になってきています。

私たちは目先の大本営発表は置いといて、その中身を見ることに努めなければならぬ時代になってきたのです。

事業報告書

平成26年度 第16期 事業報告書

特定非営利活動法人 ソフトインダストリー研究会

1. 事業の成果

「ホビー・ビレッジ」構想は、日本ホビー協会の協力のもと、調査と実験を重ねていますが、実現にはまだまだ時間がかかりそうです。昨年度は「時代の変化」をテーマにセミナー事業に集中して活動をいたしました。本年度もセミナーの開催を中心に、「実験社会」に突入している現状について、方向性が間違っていないことを確認しあいました。今後は更に「実験社会への突入」による新しい暮らしを、勇気をもって切り拓く提案をしていく。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
セミナー事業	2014(第一回)	平成26年7月	日本ヴォーグ社会議室	3人	18名	59,750
	2014(第二回)	平成26年9月	日本ヴォーグ社会議室	3人	14名	90,276
	2014(第三回)	平成26年11月	日本ヴォーグ社会議室	3人	16名	66,241
	2014(第四回)	平成27年2月	日本ヴォーグ社会議室	3人	10名	45,160
情報提供事業	会報夏号の発行	平成26年6月	事務所	4人	70人	30,058
	会報秋号の発行	平成26年10月	事務所	4人	70人	36,020
	会報春号の発行	平成27年1月	事務所	4人	70人	14,880
	会報桜号の発行	平成27年3月	事務所	4人	70人	28,040
視察会	現地視察会	-	-	-	-	0
調査研究事業	ホビー村構想	平成26年4月 ～27年3月	事務所	10人	10人	55,201

(2) その他の事業

実施しなかった。

以上

活動計算書

平成26年度 活動計算書			
平成26年4月1日～平成27年3月31日			
			(単位：円)
科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
I. 経常収支の部			
1. 受取会費			
正会員受取会費	370,000	0	370,000
賛助会員受取会費	0	0	0
2. 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
施設等受入評価益	0	0	0
3. 受取助成金等			
受取助成金	0	0	0
4. 事業収益			
セミナー事業収入	220,000	0	220,000
視察会事業収入	0	0	0
教養講座事業収入	0	0	0
情報提供事業収入	170,000	0	170,000
調査研究事業収入	0	0	0
3. その他収益			
受取利息	60	0	60
雑収入	0	0	0
経常収入合計	760,060	0	760,060
II. 経常支出の部			
1. 事業費			
セミナー事業費	261,427	0	261,427
視察会事業費	0	0	0
教養講座事業費	0	0	0
情報提供事業費	108,998	0	108,998
調査研究事業費	55,201	0	55,201
事業費計	425,626	0	425,626
2. 管理費			
事務消耗品費	1,424	0	1,424
雑費	324	0	324
通信費	17,459	0	17,459
会議費	93,335	0	93,335
接待交際費	18,640	0	18,640
支払手数料	908	0	908
交通費	0	0	0
図書研究費費	7,742	0	7,742
消耗品費	2,148	0	2,148
荷造運賃費	2,616	0	2,616
諸会費	159,000	0	159,000
管理費計	303,596	0	303,596
経常費用計	729,222	0	729,222
当期経常増減額	30,838	0	30,838
前期繰越正味財産額	215,583	0	215,583
次期繰越正味財産額	246,421	0	246,421

貸借対照表 + 財産目録

平成26年度 貸借対照表			
平成27年 3月31日 現在			
特定非営利活動法人 ソフトインダストリー研究会			
科 目	金 額 (単位：円)		
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	356,421		
未収金	0		
流動資産合計		356,421	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資 産 合 計			356,421
負債の部			
1. 流動負債			
前受金	110,000		
源泉所得税預り金	0		
流動負債合計		110,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			110,000
1. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		215,583	
当期正味財産増減額		30,838	
正 味 財 産 合 計			246,421
負債及び正味財産合計			356,421

平成26年度 財産目録			
平成27年 3月31日 現在			
特定非営利活動法人 ソフトインダス			
科 目	金 額 (単位：円)		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	75,497		
普通預金 みずほ銀行東京営業部 (普通口座 NO.2229407)	280,924		
未収金	0		
流動資産合計		356,421	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資 産 合 計			356,421
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	110,000		
源泉所得税預り金	0		
流動負債合計		110,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			110,000
正 味 財 産			246,421

貴方は健康ですか

人生は確実に 90 年時代に向かっていきます。人生 50 年の時代は結核などの感染症が死因の多くを占めていました。時代とともに栄養状況、生活環境、衛生状態、医療環境が向上し今日では自身の生活習慣（心身とも）に起因する循環器系が加齢と共に劣化しそれにより癌などの疾病に罹患するようになって来りました。

このような中で血圧は低くコレステロールは少なくすることが健康を維持するには必須であるとのことで多くの人が指標とされた数値の上限を超え薬の服用を処方されてきました。ところが厚生省は 2015 年版の食事摂取基準で高コレステロール基準の食品を「食事制限との科学的相関関係が認められない」とのことで削除しました。

昨年の 4 月には日本人間ドック学会が 150 万人の調査結果から今までの基準値に対して新しい数値を公表しました。この数値によると私（白石）は BMI 値の他は正常ということになります。皆様もご自身の数値をこの表と比べてみてください。尚、従来の基準値はそれ

ぞれの学会など専門の研究機関が出した数値ですから貴方のかかりつけの病院がどちらの数値に基づいて処方するかは（強制されているわけではないので）判りません。

新たな健診の基本検査の基準範囲（日本人間ドック学会）

		従来値 (男女共通)	新基準	
			男性	女性
血圧	収縮期血圧	130未満	88~147	
	拡張期血圧	85未満	51~94	
体格指数 (BMI)		25未満	18.5~27.7	16.8~26.1
γ-GTP		0~50	12~84	9~40
総コレステロール		140~199	151~254	30~44歳 145~238
				45~64歳 163~273
				65~80歳 175~280
LDLコレステロール		60~119	72~178	30~44歳 61~152
				45~64歳 73~183
				65~80歳 84~190

< セミナーのご案内 >

これから先が今までの延長ではないということを研究機関も省庁も公表するようになりました。どういう社会になるか、それは基本を押さえればよいのです。お金が有るかないか、健康かどうか、年齢がどうか。その組み合わせにより社会は変化します。実験社会に突入です。今期のセミナー、7月からはじめます。ご参加お待ちしております。

前号の纏めとお詫び

前号では見出しもつけず失礼しました。前号で皆様に伝えておきたかったことは一旦東京で災害が起これば現在公表されているような被害者数ではすまないということ。衣類、履物、車、道路は全て石油由来の素材で作られているので、とても良く燃えるということ。さらに、昔のように平屋や二階建て程度なら道路に飛び出して非難しようとする人は多くありませんが今日のように高層住宅・たとえば40階建てなどになると昔の20～40倍もの人が道路に出てきます。歩くことなどでできず身動きも取れないでしょう。後は想像にお任せします。とりあえず今住んでいる家・職場の周りを調べてください。

疎開暮らし

昭和20年5月25日の山の手大空襲により東京では家も事務所も工場も全て焼けてしまったので雨露を凌ぐ所がなくなりました。我が家は使用人も多くとても親戚の家などに転がり込むことは出来ません。空襲は昭和19年から始まりましたが、父はこれを見て山林の購入を始めました。家が焼ければ次に家を建てるためには材木がいるからです。そんな中で東京に一番近い購入先が千葉県我孫子の白山という手賀沼の上の台地です。

ここに父の住む家と日常私たちと親戚、使用人が住むための家を建てました。大変な食糧難でしたから、敷地(3千坪)の一部を畑にして芋、玉蜀黍、野菜と柿、桃、栗、びわ、イチジクなど実のなる果樹を植えました。蛋白質は鶏(肉と卵)とウサギを飼いましたウサギは一度にたくさん産みます。

収穫の時期が来るまでは食べるものに苦労したとの事ですが私は近くの男の子たちに遊んでもらい食べ物を採るすべを覚えてもらいました。遊びはもっぱら食べ物を採って採ることです。夏になると手賀沼で水遊びをしました。このころの手賀沼は水が澄んでいて綺麗でした。秋サツマイモの収穫が出来るようになったころから質や味はともかくようよう食べるものに困らなくなりました。

この間叔父(母の弟)が佐倉の連隊に入隊となり、母は弟が無事であるようにと鰻や当時貴重な甘い菓子などを持参し佐倉に行きました。そこでは叔父が背中に石油缶を背負い、塹壕から飛び出しスライディングを繰り返していました。母がその演習場まで案内してくれた将校に何をしているのか聞くと、戦車の下に飛び込む訓練をしているとの事でした。母は何も言わなくなりました。幸い、叔父が入隊してからまもなく敗戦になり叔父は無事に帰って来ました。叔父から貰った「乾パンと金平糖」の味は今も忘れられません。以下次号

< 編集後記 >

日本創成会議が1年前の5月に発表した「消滅可能性都市」のインパクトは小規模自治体に厳しい選択を迫っている。一つは統合、合併を選択せざるをえない「諦め」か、もう一つは地方創生関連予算への「期待」の道か、あるいは平成の大合併に逆らい自立の道を選択し、住民自治を貫こうとするかです。また大規模自治体においても住民自治とどのように地域づくりを効果的にすすめればいいのか、従来の手法ではない新しい工夫したやりかたを模索していかなければならない。 渡辺 勝範

SORUCA のホームページの画面です。 <http://sorca.p2.weblife.me/>



「特定非営利活動法人ソフトインダストリー研究会」広報誌
SORUCA 通信 (2015年新春号)

発行責任者 白石 嘉宏
発行所 NPO ソフトインダストリー研究会
東京都新宿区矢来町 47 番地
TEL: 03-3266-1769
FAX: 03-3266-1764
<http://sorca.p2.weblife.me/>
編集人 渡辺 勝範・長谷川 毅
発行日 2015年5月31日



発行元 :NPO ソフトインダストリー研究会